

令和2年度 長崎県立長崎東中学校・長崎東高等学校 自己評価

1 学校スローガン	「ひがし」は一つ ～「ひがし」でしかない「学び」をともに創る
2 教育方針	豊かな人間性を養い、高い知性と創造力を備えた未来社会に貢献できるパイオニアを育てる。
3 教育目標	(1) 徳・知・体のバランスのとれた全人教育の展開 (2) 高い国際的教養を身に付けたグローバル人材の育成を目指す教育の展開 (3) 生徒一人ひとりを大切に、資質や能力を十分に発揮させる教育の展開 (4) 生徒一人ひとりが夢の実現に向かって生き生きと活動できる教育の展開
4 重点努力目標	(1) 質の高い学習指導の展開と生徒が自ら深く考え、ともに学びあう姿勢の育成 (2) よき世を創る高い志や夢を持たせる進路指導の充実と進路希望の実現 (3) 確かな倫理観と品格を育む生徒指導の推進 (4) 国際社会で活躍できるグローバル人材の育成 (5) 郷土への誇りと愛着を持ち、郷土の将来を担う人材の育成 (6) リーダーシップとフォロアシップを育て、自主・自律の精神を高める生徒活動の推進 (7) 学習との両立を実現する部活動の推進 (8) 豊かな心と表現力を育てる図書・視聴覚教育の充実 (9) 一人ひとりを大切にする教育相談と心と体の健康作りを推進する保健・安全指導の推進 (10) 校務の効率化を目指した学校情報化と情報セキュリティ対策の推進 (11) 施設・設備の充実と安全で安心できる教育環境の整備 (12) 学校、保護者、同窓会、地域社会等が一体となった教育活動の展開と広報活動の充実 (13) 教職員の服務規律の確保と働きやすい職場環境づくりの推進

番号	努力目標	担当	評価項目 ※「ひがし」は東中及び東高の総称	評価指標 ※数値はB段階(A段階)	評価	成果と課題	改善策等
1	1	教務【中】	私は、学校の授業や学習指導に満足している。	授業や学習指導に満足している生徒・保護者の割合が、ともに80(90)%以上。	A	成果：生徒・保護者ともに90%を超えている。 課題：継続した指導力の向上	ICTを更に活用した授業研究等を進めていく。
2	1	教務【中】	私は、指導計画(シラバス)に即した学習指導ができています。	100%	C	成果：100%には届かず83%となったが、天候不良による臨時休校や分散登校等があったことを考えると、先生方によく対応していただいたと思う。 課題：授業進捗の把握	年間計画を意識した授業となるよう、学期毎に確認していく必要がある。
3	9	教務【中】	「ひがし」に入学して(させて)よかった。	「ひがし」に入学して(させて)よかったと思う生徒・保護者の割合が、ともに80(90)%以上。	A	成果：保護者が約97%、生徒が約95%であり、高い評価を得ている。	今後も、生徒保護者が達成感をもてるように、指導等を継続していく。
4	12	教務【中】	私は、「立山の風」やHP、メールメイト等での「ひがし」からの情報提供に満足している。	「立山の風」やHP、メールメイト等での情報提供に満足している保護者の割合が、80(90)%以上。	A	成果：90%を超える評価となっている。HP更新、学校便りや学級通信の発行だけでなく、teamsも適宜活用されている。	HP更新作業ができる職員が各学年一人いる状況となったが、各担当のチェックなど、校務で忙しい中、その時間をどう確保するか悩みます。
5	1	教務【高】	私は、学校の授業や学習指導に満足している。	授業や学習指導に満足している生徒・保護者の割合が、ともに80(90)%以上。	A	生徒92.9% 保護者91.9% コロナ禍の中、対応に苦慮することもあったが、生徒・保護者ともに90%を超える高い評価をいただいた。	クラッシーを主管する進路指導部との連携を図りながら、学校が休校になった場合の対応策を再度確認しておく。
6	1	教務【高】	私は、指導計画(シラバス)に即した学習指導ができています。	100%	B	教員93.1% この3年間でもっとの低い数値となったが、コロナ禍のために当初の予定と変更になったことが要因と考えられる。そのような状況の中で教職員には可能な限り尽力していただいた。	学校が休校になった場合、本年度と同様、学校行事を変更しつつ授業時数を確保するよう努める。
7	9	教務【高】	「ひがし」に入学して(させて)よかった。	「ひがし」に入学して(させて)よかったと思う生徒・保護者の割合が、ともに80(90)%以上。	B	生徒89.4% 保護者95.1% 保護者からは昨年同様高い評価をいただいた。生徒の評価は、昨年より2%弱下がり、90%を割り込んだ。コロナ禍が影響したと思われる。	コロナ禍の中でも生徒の学校生活が充実したものになるよう検討する。
8	12	教務【高】	私は、「立山の風」やHP、メールメイト等での「ひがし」からの情報提供に満足している。	「立山の風」やHP、メールメイト等での情報提供に満足している保護者の割合が、80(90)%以上。	A	保護者90.2% これまでと同様に90%以上の高い評価を得られたが、更新スピードの向上が今後の課題である。	更新スピードの向上にむけて、分掌を超えた協力体制を構築したい。
9	3	生徒指導【中】	「ひがし」の生徒は、気持ちのいい挨拶ができています。	気持ちのいい挨拶ができていますと思う生徒・職員の割合が、ともに80(90)%以上。	B	教員83.3% 生徒86.0% コロナ禍のため、積極的にあいさつを行うような指導がなかなかできなかった。	生活様式を考え、どのようなあいさつで気持ちのいいあいさつになるか考え、対応していきたい。
10	3	生徒指導【中】	「ひがし」の生徒は、容儀・服装をきちんとしています。	容儀・服装をきちんとしていると思う生徒・保護者・職員の割合が、すべて80(90)%以上。	A	教員100% 生徒94.7% 保護者99.0% これまでと同様に90%以上の高い評価を得られた。	現状が継続・向上されるように教員間で連携して取り組んでいく。
11	3	生徒指導【中】	「ひがし」の生徒は、毎日きちんと掃除に取り組んでいる。	毎日きちんと掃除に取り組んでいる生徒・職員の割合が、ともに80(90)%以上。	A	教員100% 生徒91.2% 昨年度より数値がアップした。	現状が継続・向上されるように生徒と共に取り組んでいく。
12	3	生徒指導【中】	私は、スマホ等の使用時に、モラル意識を持ってマナーを守っている。	モラル意識を持ってマナーを守っている生徒の割合が、80(90)%以上。	A	生徒91.8% 昨年度より若干数値は下がっているが、90%以上を保っている。文化祭において、3年生がスマホ等に関する劇を行ったり、授業等で取り扱ったりできた。	スマホ等の使用については、家庭との連携を図ると共に、道徳等で考える時間を確保していく。
13	3	生徒指導【中】	私は、午後9時以降にメール等を送らないようにしている。	午後9時以降にメール等を送らないようにしている生徒の割合が、60(70)%以上。	C	生徒57.9% 昨年度より数値がダウンしている。	午後9時以降にはメール等は送らないというルールを家庭にも協力をお願いしていく。
14	3	生徒指導【中】	私は、バスマナー等の公共交通機関利用のルールを守っている。	公共交通機関利用のルールを守っている生徒の割合が、80(90)%以上。	A	生徒98.8%	コロナ禍であるが、周りを見て正しい行動ができるようにさらに取り組んでいく。

番号	努力目標	担当	評価項目 ※「ひがし」は東中及び東高の総称	評価指標 ※数値はB段階(A段階)	評価	成果と課題	改善策等
15	3	生徒指導【中】	私は、周囲や相手のことを思いやって生活できている。	周囲や相手のことを思いやって生活できている生徒の割合が、80(90%)以上。	A	生徒93.6% 昨年度より数値が上がっている。	現状を継続、向上できるように生徒とともに取り組んでいく。
16	3	生徒指導【高】	「ひがし」の生徒は、気持ちのいい挨拶ができています。	気持ちのいい挨拶ができていと思う生徒・職員が割合が、ともに80(90%)以上。	C	生徒：81.1%、職員：62.1%。 生徒と職員の間認識のずれがある。コロナの影響もあると思われる。	挨拶の意義を理解させ、自主性の涵養を含めた指導を展開する。
17	3	生徒指導【高】	「ひがし」の生徒は、容儀・服装をきちんとしている。	容儀・服装をきちんとしていると思う生徒・保護者・職員の割合が、すべて80(90%)以上。	A	生徒：95.3%、保護者：99.0%、職員：94.8%。	
18	3	生徒指導【高】	「ひがし」の生徒は、毎日きちんと掃除に取り組んでいる。	毎日きちんと掃除に取り組んでいる生徒・職員の割合が、ともに80(90%)以上。	B	生徒：92.6%、職員：86.2%。	掃除の意義を理解させ、自主性の涵養を含めた指導を展開する。
19	3	生徒指導【高】	私は、スマホ等の使用時に、モラル意識を持ってマナーを守っている。	モラル意識を持ってマナーを守っている生徒の割合が、80(90%)以上。	A	生徒：94.2%。	
20	3	生徒指導【高】	私は、午後9時以降にメール等を送らないようにしている。	午後9時以降にメール等を送らないようにしている生徒の割合が、60(70%)以上。	C	生徒：51.9%。	保護者とも連携し、スマホの安全・安心・適正な使用方法を確立させるとともに、健康被害や学力への悪影響を周知する。
21	3	生徒指導【高】	私は、バスマナー等の公共交通機関利用のルールを守っている。	公共交通機関利用のルールを守っている生徒の割合が、80(90%)以上。	A	生徒：98.6%。	
22	3	生徒指導【高】	私は、周囲や相手のことを思いやって生活できている。	周囲や相手のことを思いやって生活できている生徒の割合が、80(90%)以上。	A	生徒：95.0%。	
23	2	進路指導【中】	私の学年は、テスト結果の分析と具体的な改善に取り組んでいる。	テスト結果の分析と具体的な改善に取り組んでいると思う職員が割合が、80%以上。	A	83.3% 昨年度より減少。	学年、中学全体の分析が必要
24	2	進路指導【中】	私は、政治や選挙に関心があり、主体的に社会参画を目指している。	政治や選挙に関心があり、主体的に社会参画を目指している生徒の割合が、60(70%)以上。	A	71.40%	継続的に社会参画を促していく必要あり
25	2	進路指導【高】	私の学年は、テスト結果の分析と具体的な改善に取り組んでいる。	テスト結果の分析と具体的な改善に取り組んでいると思う職員が割合が、80%以上。	A	93.1% 教科チーフ会や志望校検討会など生徒の状況を確認しながら今後の改善策を協議した。協議した結果は学年集会等で生徒に示し、今後の学習計画を立てさせた。	学習計画を実際に行うところまでの指導が必要。面談等で状況確認をしなければならぬ。
26	2	進路指導【高】	私は、政治や選挙に関心があり、主体的に社会参画を目指している。	政治や選挙に関心があり、主体的に社会参画を目指している生徒の割合が、60(70%)以上。	A	72.5% 講演会の企画、講師依頼、運営等を生徒主体で行った。生徒達はアイデア、企画力等様々な能力の高さを発揮してくれた。今後もこのような機会を増やしていきたい。	キャリア教育を充実させ、社会の一員として活躍していく意識の育成が必要である。
27	6 7	生徒会【中】	私は、「ひがし」の学校行事に積極的に参加している。(保護者は、「満足している。」)	学校行事に積極的に参加している生徒・満足している保護者の割合が、80(90%)以上。	A	生徒93.9% 保護者90.4% 様々な行事が中止・変更を余儀なくされた中でも生徒が前向きに参加できる行事づくりに取り組んだ。一方、保護者はほとんど学校行事に参加できない状況となってしまった。	学校行事の様子を保護者が見られない分、学校行事の様子に関する情報発信の強化が必要である。
28	6 7	生徒会【中】	「ひがし」は、生徒会活動や学級の委員会活動が充実している。	生徒会活動や学級の委員会活動が充実していると思う生徒・保護者・職員の割合が、80(90%)以上。	A	生徒92.1% 保護者94.6% 職員100% 月に一度の専門委員会が決まったことを学級で取り組んだり、呼びかけを行ったりするなど、各専門部が積極的に活動している。	一部の生徒や専門部に負担がかかりすぎないように配慮する。
29	6 7	生徒会【中】	私は、日頃から自主的・自律的な活動を心がけている。	日頃から自主的・自律的な活動を心がけている生徒の割合が、70(80%)以上。	A	生徒85.4% 自主的・自律的な活動を心がけられない生徒について、自分自身をコントロールするための習慣づけを指導することが必要である。	中学生はフォーサイトを活用しているが、その中に「やることリスト」をつくるなど、自分の行動を客観的に考える仕組みをつくる。
30	6 7	生徒会【中】	私は、下校時刻を守っている。	90(100%)	A	生徒97.7% 部活動終了後の着替えが間に合わず遅れることがある。	時間を見て行動したり、素早く着替えたりする指導を、今後も継続していく。
31	6 7	生徒会【中】	私(生徒)は、学習と部活動の両立(中1は学習習慣の確立)に努めている。	学習と部活動の両立(学習習慣の確立)に努めていると思う生徒・保護者の割合が、ともに70(80%)以上。	A	生徒87.7% 保護者93.8% 生徒の方が低い数値だが、保護者の数値を見る限り、多くの生徒が努力しており、保護者が見守っている状況である。	両立できていないという生徒について、どのようにすれば両立できるかを、生徒本人だけでなく担任をはじめ教員も一緒に考えていく。両立できないことを相談できる環境作りも必要である。
32	6 7	生徒会【中】	私は、「ひがし」の部活動に積極的に参加している。(保護者は、「満足している。」)	本校の部活動に積極的に参加している生徒・満足している保護者の割合が、80(90%)以上。	A	生徒88.9% 保護者87.9% コロナ禍の中にあり、十分に活動できないこともあるが、制限の中感染症対策を講じて、できるだけ充実した部活動となっている。	感染症対策を徹底して行いつつ、生徒・保護者ともに満足できる部活動への参加方法を考えていく。

番号	努力目標	担当	評価項目 ※「ひがし」は東中及び東高の総称	評価指標 ※数値はB段階(A段階)	評価	成果と課題	改善策等
33	6 7	生徒会【高】	私は、「ひがし」の学校行事に積極的に参加している。(保護者は、「満足している。」)	学校行事に積極的に参加生徒・満足している保護者の割合が、80(90%)以上。	A	生徒89.8% 保護者88.4% A評価の指標には達しているが、保護者は昨年度の96.6%から大きく下がっている。コロナにより保護者の観覧をご遠慮頂いたことも原因であると思われる。	感染状況も鑑みながら、生徒・保護者共に満足のいく方策を考えていきたい。
34	6 7	生徒会【高】	「ひがし」は、生徒会活動や学級の委員会活動が充実している。	生徒会活動や学級の委員会活動が充実していると思う生徒・保護者・職員の割合が、80(90%)以上。	A	生徒80.1% 保護者93.3% 職員94.8% 生徒・保護者・職員とも、昨年度よりも割合が上がっている。生徒の自主的な活動が定着しつつあると思われる。	各専門委員会において、生徒にとって活動しやすい目標を立てさせる。
35	6 7	生徒会【高】	私は、日頃から自主的・自発的な活動を心がけている。	日頃から自主的・自発的な活動を心がけている生徒の割合が、70(80%)以上。	A	生徒86.2% 一昨年度の80.9%、昨年度の84.8%から、また更に高くなっている。生徒の意識が年々高くなってきていると思われる。	更に生徒の意識が高まるよう、折に触れて啓蒙していきたい。
36	6 7	生徒会【高】	私は、下校時刻を守っている。	90(100%)	A	生徒99.0%	職員は100%守らせている、となっている。「自主的・自発的な活動」基本として、100パーセントを目指し指導していく。
37	6 7	生徒会【高】	私(生徒)は、学習と部活動の両立(中1は学習習慣の確立)に努めている。	学習と部活動の両立(学習習慣の確立)に努めていると思う生徒・保護者の割合が、ともに70(80%)以上。	A	生徒85.2% 保護者89.7% 多くの生徒がよく努力している。	部活動におけるガイドラインに沿った活動を行っていく。
38	6 7	生徒会【高】	私は、「ひがし」の部活動に積極的に参加している。(保護者は、「満足している。」)	本校の部活動に積極的に参加している生徒・満足している保護者の割合が、80(90%)以上。	A	生徒85.3% 保護者88.9% 多くの生徒が積極的に部活動に取り組んでいる。先生方の熱意と保護者のご協力によるところが大きい。	生徒が活動しやすい環境作りに努める。
39	1	図書研修【中】	私は、授業改善や指導力の向上に努めている。	90(100%)	A	3年連続100%。	生徒へのパソコン導入も見据えた、今後の指導についても、引き続き向上を目指したい。
40	8	図書研修【中】	私は、朝の読書に熱心に取り組んでいる。	朝の読書に熱心に取り組んでいる生徒の割合が、80(90%)以上。	A	各クラスの図書文化委員が毎朝呼び掛けていて、習慣化している。課題は、100%ではないので、全員が読書に集中する環境にすること。	探究活動と連動させて、自身の「課題図書」を各自が読むような場にできないか。
41	8	図書研修【中】	4月以降、本を何冊ぐらい読みましたか？	読書冊数において、中学校20冊以上が70(80%)、高校10冊以上が50(60%)以上。	A	平均30、3冊。昨年度より約9冊増加。コロナ等での休校期間の活用や、中1で読書週間にクラスで100冊以上の貸し出しを目標にして取り組んだ。課題は、新書をはじめ、読書の幅を広げること。	中1の探究活動で「新書レビュー」を行うので、朝読の時間を利用して、早くから取り組むことができないか。
42	1	図書研修【高】	私は、授業改善や指導力の向上に努めている。	90(100%)	B	96.6%と前年度98.8%から減少している。A.L週間をSDZs週間と銘打って実施したが、具体的な授業改善のポイントが不明確だった。	来年度は、タブレット等、ITの活用に絞って実施したい。また可能ならば外部講師も招聘したい。
43	8	図書研修【高】	私は、朝の読書に熱心に取り組んでいる。	朝の読書に熱心に取り組んでいる生徒の割合が、80(90%)以上。	A	84.3%。各クラスの図書委員の呼びかけにより、毎朝取り組むことができています。	新聞記事や課題図書なども挟み込みながら、実施していきたい。
44	8	図書研修【高】	4月以降、本を何冊ぐらい読みましたか？	読書冊数において、中学校20冊以上が70(80%)、高校10冊以上が50(60%)以上。	A	月平均7.2冊。前年度6.6冊から微増。読んでいる者と読んでいないものの差が大きい。読んでいる本のジャンルが狭い。	SDGsに関連するものや先生方の推薦と書など、書籍の充実、また広報活動にも力を入れたい。県立図書館との連携も考えてよい。また、「東高100選」も改定の時期に来ている。
45	4	G人材【中】	「ひがし」は、国際社会で活躍できる人材の育成に努めている。	国際社会で活躍できる人材の育成に努めていると思う保護者の割合が、70(80%)以上。	A	保護者93.8%、中職員100% コロナ禍で様々な行事に制約があったが、できる限りの取組はできたと思う。	今年度に引き続き、制約がかかる中で生徒の意識向上に繋がる活動を考えていく。
46	4	G人材【高】	「ひがし」は、国際社会で活躍できる人材の育成に努めている。	国際社会で活躍できる人材の育成に努めていると思う保護者の割合が、70(80%)以上。	A	保護者92.1%、高職員98.3% これまでと同様に90%以上の高い評価を得られた。	次年度は海外とのオンライン交流を拡充する。今後も「ワールドワイドレポート」を発行し、情報発信に努める。
47	9	相談【中高】	「ひがし」は、生徒一人ひとりを大切にした指導を行っている。	生徒一人ひとりを大切にした指導を行っていると思う保護者の割合が、70(80%)以上。	A	90.7% コロナ禍で生徒の不安も大きかったが、担任の先生を始めとして、職員全体で一人ひとりの生徒に地道に向き合うことができた。	生徒が安心して充実した学校生活を送れるように、支援を継続していく。そのために、相談体制の充実、職員間の連携、必要に応じて外部機関との連携を行っていく。
48	11	事務	「ひがし」は、円滑な教育活動に必要な施設・設備の充実を努めている。	施設・設備の充実を努めていると思う職員の割合が、90(100%)	B	92.1% 成果:工事関係については、エレベーター設置工事、高速インターネットLAN工事を行い、備品については、特別教室に電子黒板の設置を行うなど充実を努めた。課題:校舎、校地とも随所で老朽化してきており、小修繕に係る予算が不足している。	小修繕に係る予算については、県へ予算要求を行うとともに管理予算を教育活動に必要な設備、消耗品の購入に充てるなど、更なる有効化に努める。